

平成16年6月16日

## 第8回 国際医療福祉大学・ニッセイ同和損害保険 奨学生認証式を開催

ニッセイ同和損害保険（社長：須藤 秀一郎）では、5月26日、東京新阪急ホテルにおいて、第8回 国際医療福祉大学・ニッセイ同和損害保険奨学生認証式を開催しました。

この奨学金制度は、旧同和火災が創業100周年記念事業の一環として、平成9年度より高齢者介護・リハビリテーションなど医療福祉・医療経営に携わる人材を育成する国際医療福祉大学（栃木県大田原市）の学生・留学生を対象に創設した制度です。この制度は、大学から推薦された学生に、返還義務のない奨学金を卒業まで給付するものであり、平成16年度は2000万円を奨学金として寄付しました。

これまで53名が奨学生として認定され、実務研修などを通じて、それぞれの専門分野で知識の習得に励まれています。平成16年度も多く在学生から応募があり、厳しい選考の結果、留学生を含む9名の方が第8期奨学生として選ばれました。

認証式には大学から谷 修一学長、開原 成充大学院長をはじめ4名の方が列席されました。奨学生自己紹介のあと、会社を代表して岡崎会長から祝辞が述べられ、その後須藤社長より奨学生に認証状が手渡されました。

平成16年3月、国際医療福祉大学からは、医療福祉のエキスパートとして大学院生を含め865名が実社会に巣立っており、これからの医療福祉分野を支える人材として大いにその活躍が期待されています。

当社は、同大学のノウハウや奨学生を含む卒業生のネットワークを活かし、介護・シルバー事業の取組を強化してまいります。



ニッセイ同和損害保険第8期奨学生を囲んでの記念撮影  
(前列左2人目から、開原大学院長、谷学長、岡崎会長、須藤社長)